

高山市クラブの活動報告

地区選抜対抗戦に変わり、ジュニア大会が行なわれるようになってから2年が経ちました。大会が変わったことで、その目的や内容も大きく変わっています。地区選抜対抗戦は、2年生を主とした地区内の有望な選手を招集して臨む大会でしたが、ジュニア大会は、3年生も出場できるクラブチームの大会です。しかし、高山市には、ジュニアのクラブチームはあまりありません。それは、これまでの先輩方や協会のお力添えもあり、学校部活でも充実した環境があったことが、その要因だと考えられます。学校部活が終わり高校に入学するまでの間で、バスケットボールができる環境を作ることは有意義なことでもあります。そこで、高山市バスケットボール協会を母体としたジュニアのクラブチーム（高山市クラブ）を発足し、大会に臨みました。（今年度女子チームは、古川中学校の選手2名を受け入れています。）男子チームは惜しくも予選で敗退しましたが、女子チームは、勝ち進むことができ、二連覇を成し遂げることができました。そして、岐阜県代表として、全国ジュニアバスケットボール選手権にも出場させて頂きました。全国ジュニアバスケットボール選手権では、決勝トーナメントに進み1回戦を突破するも、準決勝で全中優勝の藤浪ジュニアに敗れました。また、3位決定戦でも東京都優勝の東京成徳に破れ4位となりました。高山市クラブの活動で得られた成果は主に2つあります。1つ目は、仲間

作りです。今年度男子チームには、中山、松倉、日枝、東山、国府の5校の選手が、女子チームには、中山、清見、日枝、松倉、古川の5校の選手がいました。これまで大会で顔を合わす程度だった間柄だったのが、共に練習を重ね、共に戦うことを通して、バスケットの仲間を増やすことができました。そして、選手たちは、とても仲のよいチームを作ってくれました。別々の中学校の選手が仲間になったことは、高校でバスケットボールをする上でも、意義のあることだとも思います。2つ目は、高いレベルのバスケットボールを肌で感じられたことです。高山市クラブの選手は、高校でもバスケットボールを続ける意欲をもつ選手がほとんどです。高校で上を目指してバスケットボールをする上でも、貴重な経験になったと思います。また、全国の強豪チームとも渡り合うことができ、自信を得ることもできました。高山市クラブは、高山でバスケットボールをしている子どもたちが、ジュニアの段階でより多くの貴重な体験ができることを願って活動しています。しかし、発足して間もない活動ですので、まだまだ不十分な面もあります。多くの方々の支えによって、活動することができました。今年度も、高山市クラブを発足し活動を行なっていきますが、ご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

H25年度 女子HC 長瀬 純

垣内理菜（中山中学校）

私は、高山市クラブのキャプテンを務めさせていただきました。クラブの活動を通して、多くのことを得ることができました。最初は、チームによって約束事が違ったので、上手くいかないことが多くありました。しかし、コミュニケーションをとるにつれて、上手くいくようになってきました。自分の考えを伝える、相手の考えを理解する、お互いが分かってくると、プレイがかみ合っていくようになったと思います。コミュニケーションをとることの大切さを改めて感じる事ができました。今後、私たちがバスケットボールを続ける中で、必要なことを学ぶことができました。また、違うチームの仲間と仲良くなれたことも、私たちにとって大きな財産です。このクラブがなかったら、仲良くなれなかった仲間もいます。クラブがあったおかげで、たくさんの仲間と絆を深めることができました。また、バスケットボールを通して仲間作りができ、バスケットボールのよさを感じることができました。私たちは、それぞれ分かれて高校に進学しますが、高校に進学しても仲間とのかかわりを大切にしながらがんばっていきます。応援よろしくお願いします。

松本隆史（東山中学校）

僕達高山市の3年生は、部活を引退してからクラブチームとして毎週夜に集まって練習をしていました。部活とは違って、同じ年のメンバーとお互いに考え、話し合いながらのびのびとバスケットをすることができ、とても楽しかったです。始めは、集まったメンバー全員が顔見知り程度で、話したこともあまりなかったけれど、練習を重ねていく中で、バスケを通して仲良くなれました。また、技術面でも坂下先生や山下先生に教えていただき上手くなれたと思います。特に僕は中学校からバスケを始めたこともあり、みんなより下手でした。だけど周りの仲間から吸収することもたくさんあり、部活を引退してから上達することができたのが嬉しかったです。僕は、今回このクラブチームに参加してよかったと思います。それは、たくさんの友達が作れてバスケも上手くなれたからです。高校にいてもバスケを続けていこうと思えました。今後もこういう機会があったら参加したいと思っています。

編集後記

先日、クロフネカンパニーという会社の代表である中村文昭さんという方の講演を録音ですが聞く機会がありました。その中にこんな話がありました。【師匠に1000円渡され、「ジュース買ってきてくれ」と言われて、普通に買って帰ってくると胸ぐらつかまれてどつかれるんですよね。理不尽でしょ。「お前何考えて買いにいったんや？お前なぁ『頼まれごととは試されごと』や。人にモノを頼まれた時、試されていると思ってやれ。人を喜ばせることになるんやぞ。頼まれたことをどうせやるんだったら、頼んだ人間の予測を上回る速さでやってや

ろうか。頼んだ人間の思っている以上のことをやってやろうか。って思って行動せんといかんやろ。お前が走って急いで買ってきたら俺はどう思うと思うんや・・・】なるほどなぁと思いました。バスケットボールでも同じことが多くあると思います。自分が生徒の頃「よく考えてプレイをすることが大切だ」と教えていただきました。言われたことをただやるのではなく、相手のことを考え動くことは社会でも同じだと思います。大人になった今、バスケットボールで教えてもらったことがたくさんあるように感じます。(Y.Y)



小学生バスケットボール大会

毎年恒例となってきた小学生バスケットボール大会。今年も多くの子ども達が参加して盛り上がりました。先日、ビックアリーナの無料開放日に小学生大会で優勝した TRANS Boys のメンバーが来てバスケをしていました。話をしていると、昨年小学生大会にも参加したのですが、負けてしまい3位だったそうです。その負けが悔しく、1年間ゴールのある子の家にみんなで集まって練習をしたそうです。ミニバスケットボールはやっていないのですが、バスケットボールはすごく楽しいという話をしてくれました。バスケットボール大会を機会に多くの子ども達が興味をもってくれているのだと感じました。



優勝チーム
TRANS Boys



高山リーグ参加チーム紹介

昨年、5月から11月にかけて高山リーグの試合が行なわれました。長期間かけてリーグ戦を戦い、1位から4位までを勝ちとったチームによる、決勝トーナメントが行われました。決勝戦のROMPS-高山クラブでは3Qを終えた時点で44-46と高山クラブリードの展開でしたが、4QにROMPSは3P3本を含む猛攻で逆転し、見事優勝に輝きました。また、3位決定戦のCROWS-Bloodsは67-64、交流戦でのPANIX-BAGUSも32-33と接戦ばかりの目の離せない楽しい展開になりました。

2014シーズンからさらにNEXUSが加入し、8チームで行われる高山リーグ。今回は、そんな熱い戦いを繰り広げているチームを紹介したいと思います。

① チームの紹介 ② チームのプレイスタイル ③ 来シーズンにむけて一言



高山クラブ

- ① 高山クラブは、バスケットボールを通じて、地域を盛り上げて行こうをモットーに10代、20代、30代、40代と幅広いプレイヤーが所属しているチームです。年の差関係なく、ただのバスケット好きの集まりです。楽しいバスケットをすると共に、勝利のためにみんなで考え練習に取り組んでいます。
- ② 個々の能力を活かし、チームプレイを組み、点を取りに行く。
- ③ 一試合一試合を大事にして、積極的に点を取り、勝ちに行く。



ROMPS

- ① 我々ROMPSは、自分達の限界に挑戦し、県でベスト4に入るため日々練習に取り組んでいます。社会人という立場で時間の自由がきかない中で、各自が目標への到達のために時間を割いて、一生懸命練習に励んでいます。また、地域の方々(特に子供達)にバスケットボールというスポーツに更に関心をもっていただけるよう、率先して普及、推進活動等にも協力できるチームでありたいと思っています。
- ② 決して大きいチームではないので、脚で勝つチームでありたいとおもっています。常にプレッシャーをかけるディフェンスをし、ブレイクで得点を重ねることを絶対条件に置いております。あとは...企業秘密です...☆
- ③ 今年度も高山選手権に優勝して、6連覇を目指します。そして、設立当初からの目標である、県ベスト4に入るために、また1からやり直す覚悟で必死に練習に取り組み、目標の実現に向かい、チーム一丸となって頑張っていきます。



CROWS

- ① 頭と身体のズレが大きくなってきたラッサンチームですが、コートの中でも外でも楽しくやっています。
- ② 頭を使って、動きは最小限に。速攻しません。ゆるしません。バスケエクササイズ。
- ③ 順位も含め「色々と程々に」を目指します。



Bloods

- ① 人数は約10人。楽しくバスケをし、楽しく打ち上げをするのがモットーです。
- ② ディフェンスから積極的にプレッシャーをかけブレイクをねらう。本能に任せた個人技と3Pシュートも積極的にねらっていきます。
- ③ 高山リーグで優勝。



PANIX

- ① とにかく楽しく！弱くても楽しければいいじゃん！そんな感じのチーム作りをしています。その中で勝てたらお祭り騒ぎ！チーム名も、実は冗談から来ています(笑)人数は15~20人。学生含め男女織り交ぜてワイワイやっています！
- ② 打てたら打つ！これだけです！
- ③ 今年もただ楽しむだけです！勝つときは勝つ！負けるときは負ける！楽しみますよ！！



BAGUS

- ① 「BAGUS(バグース)」とはインドネシア語で「最高」「すばらしい」という意味です。言葉の意味と響きの良さからこのチーム名にしました。メンバー全員が30歳以上の「おじさんチーム」なのでとにかく試合が終わるまで動ける事を目標としてプレーをしています。
- ② ポストを中心にミドルシュートを狙って得点を取る。ディフェンスはゾーン。(マンツーマンはしんどい)
- ③ リーグ戦2勝を目標にがんばります！



宮クラブ

- ① 約週2で練習をしています。主に高山市一之宮町中学校の体育館にて練習しています。20代~40代からなるチームです。
- ② 決まったプレイスタイルはなく、楽しくバスケをしています。
- ③ とりあえず、1勝に向けて頑張っていきます。



NEXUS

- ① 「楽しくバスケを！」をモットーに、13人のチームでバスケットを楽しんでいます。チーム全員仲も良く、互いに教えあいながら練習に励んでいます。チーム名のNEXUSというのは「連鎖」という意味で、つながりのあるプレー、チーム内の結束力、という意味があります。
- ② 速攻を武器に走りぬく個々の1対1だけではなく「連鎖」のあるプレーでオフェンスを展開。ディフェンスは課題だらけ
- ③ チーム全員一丸となり、良い成績が残せるよう頑張ります。